

## 平成 24 年度 第 3 回 「健康くるめ 2 1」計画協議会 議事録

日 時：平成 25 年 3 月 18 日（月）19 時 00 分～20 時 10 分

会 場：市役所 3 階 305 会議室

出席者：松石委員、満園委員、道井委員、荻野委員、宮本委員、戸田委員、吉田委員、吉田委員、大塚委員、  
松田委員、竹下委員、行徳委員

欠席者：日高委員、大石委員、友安委員、西田委員、三隅委員、野田委員、木下委員、柄本委員

### 【配布資料】

資料① 「第 2 期健康くるめ 21 計画」素案に対するパブリックコメントの結果について

資料② 第 2 期健康くるめ 21 計画【案】（平成 25～34 年度）

### 【議事】

#### 1. 開会

○事務局

定刻になりましたので、これより平成 24 年度第 3 回「健康くるめ 2 1」計画推進協議会を開会したいと思います。年度末のお忙しい中、また本日は朝から大雨で足元が悪い中、お集まりいただきましてありがとうございます。なお、本日は 8 名の委員さんからご欠席の連絡いただいております。今いらっしゃる皆様で全員となりますので、協議会を始めたいと思います。では、会長よろしく申し上げます。

○会長

皆様、こんばんは。本日の会議では 1 月末から市が実施してきましたパブリックコメントの結果報告、結果を踏まえた計画案についてとなっております。これよりそれぞれ事務局より説明があります。これまで策定に関する会議を 2 回行なってきましたが、今回は最後の会議となりますので、皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

では、議題に入ります前に、本日の協議会の傍聴希望者はいらっしゃいますか。

○事務局

本日の傍聴希望者はいらっしゃいません。

#### 2：報告

##### 1)「第 2 期健康くるめ 21 計画」素案に対するパブリックコメントの結果について

○会長

それでは、次第に沿いまして、「第 2 期健康くるめ 21 計画」素案に対するパブリックコメントの結果について、事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局

皆様こんばんは。事務局健康推進課の轟と申します。私からご説明いたします。

説明の前にお断りとして、資料 1 として説明させていただきますパブリックコメントの結果についてですが、事前送付をさせていただいたかと思ひます。今回改めてお配りしておりますのは、資料 2 で健康くるめ計画 21 案をお示ししておりますが、そちらは見やすさなどを含め、デザインをいれさせていただいております。本冊に

近いイメージでお見せしていることから、ページ数が若干ずれたところがございます。その関係で見比べやすいように修正させていただきました。内容はほとんど変わっておりませんが、ページ数を資料2に合わせておりますので、こちらをご参照ください。

資料1の説明ですが、具体的な中身につきましては議題でご説明した方がいいと思いますので、ご報告については、簡単に概要のみのご説明とさせていただきますのでご了承いただければと思います。

～中略（資料1説明）～

○会長

ありがとうございました。ただいま事務局よりご説明がありました報告について、ご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

～特になし～

特にないようですので、次の議題に移りたいと思います。

### 3：議題

#### 1)「第2期健康くるめ21」案について

○会長

議題「第2期健康くるめ21」案について事務局ご説明をお願いします。

○事務局

引き続きまして、健康推進課の轟でございます。資料2についても、私からご説明させていただきます。

～中略（資料2説明）説明～

○会長

ありがとうございました。パブリックコメントを吟味して反映ということで、非常に工夫されていると思います。事務局から説明がございましたけれども、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。追加修正されているところは、修正されていて具体的で分かりやすくなっていますね。

○A委員

この計画（案）は、これからまた変わる可能性もあるのですか。

○事務局

後ほどスケジュールでもご説明しますが、この協議会の後、庁内の会議で最終的に決定しますので、そこで意見が出て、必要であれば反映することはあろうかと思いますが、基本的にはこの線だと考えております。今日ご説明した内容をご承認いただければこの形になるかと思っております。

○A委員

この場での意見が反映されるのかどうかといったところなのですが。

○事務局

それはもちろん、反映すべきものであればそうなります。

○会長

そういう会だと思います。

○B 委員

計画案の 26P ですが、説明されたのを聞き逃しているかもしれませんが、市民の取り組みのところの 2 つ目で、1 日に 1500 歩増やしましょうと書いてありますが、1500 というのは 1 万歩、歩いている人も歩いていない人も 1500 歩歩きましょうというのは何か基になるものがあるのでしょうか。

○事務局

国の調査で 1000～1500 歩、歩数が減っているという結果が出ていましたので、久留米市の実態も踏まえて、これくらい増やしていただければ全体的に伸びるのではないかとということでこういった整理をさせていただいています。

○B 委員

国の調査でこれくらい減ってきているので、久留米が減らないようにこれくらいは増やしましょうということなんです。

○A 委員

そのあたりの基準がいるのではないですか。大体平均的にこのくらいは歩いている、それに対してこれくらい歩いているから増やしましょうといったことでないと、表現として誤解を生むと思います。大体目標値としては 1 万歩と言われるが、あれも現実的にはなんで 1 万歩かというところもあるので。平均値、標準値などがあるとならばそれを出した上の方がいいのでは。1500 歩、歩けば終わりみたいになると、1500 歩は家の中で終わってしまいますよ。

○C 委員

家のなかで活動されているご婦人方が家の中で 1500～2000 歩くらい歩いていらっしゃいます。

○A 委員

2009 年に厚労省で出た基準でも十分超えますから、表現に工夫がいるのではないのでしょうか。標準値または推奨値があったほうがいいと思います。

○事務局

事務局で整理させていただきましたのは、健康日本 21 の第 2 次を国が出しました中で、男性が 8202 歩から 7243 歩、女性が 7242 歩から 6000 歩と 1000 歩くらい減少しているというのがございまして、そういったところを踏まえて 1500 歩と数字を出させていただいております。

○A 委員

今の国の数字でいいのではないですか。基準となったものを囲みで入れるなどですね。

○会長

今の説明は非常に分かりやすかったですね。現状歩数が減っているということで付け足されると、よりそういう状況なのだと分かると思います。

○D 委員

私はこの意見を出したもののなのですが、実際1万歩、歩いている人には分かりにくい部分もあるかと思っています。

○会長

年齢別にも違うのですが、分かりやすく追加していただいて。

○事務局

なかなか表現としても難しい部分があると思っております。

○会長

先ほどの説明分かりやすかったですよ。

○C 委員

毎日自分が1日1時間普通に歩いて8500歩です。それが、今の男性の平均値に近いのでしょうか。1万歩、歩きましょう、1時間歩きましょうみたいなものが多く言われていたときに万歩計が流行りましたよね。今は携帯ですが。

○事務局

それではそのような表現を入れさせていただきます。

○会長

皆様同じのご意見のようです。いきなり1500歩と言われるより、非常に分かりやすいと思います。

○A 委員

計画案23Pの市民の取り組みのBMI等を参考に適正体重と書いてありますが、これはBMIで理想体重は22なので、22に掛けたらすぐ出てきます。適正体重は何が適正なのか分かりませんよね。22はBMIでは理想なので、それはあってもいいかと思います。具体的に指針としての数字や考えを持ってもらうという意味ではBMI22を入れると簡単に出てくるので目安にはなるかと思っています。

○事務局

BMI22という適正体重を維持しましょうといったイメージでしょうか。22が適正体重ということでしょうか。

○C 委員

21Pの注釈の範囲が標準ということなんですか。

○事務局

その範囲が標準とされています。

○事務局

現在、特定健診、特定保健指導等で示されているものが、標準体重として、18.5～24.9ということで提言されておりまして、それが標準体重の幅と考えております。特定検診とのからみもあります。

○事務局

事務局の方で検討させていただいて、整理したいと思います。

○A 委員

計画案 1P で修正なしになっていますが、飽食はあってもいいように個人的には思います。不規則な食生活というのは偏食であったりすると思いますが、ここに「やせ」のことが指摘されていますが、体重が軽いというのは脂肪が少ないということではないですから、隠れ肥満などを考えると、飽食があつて、いつでも何でも食べられる状況があつて、不規則な食生活というようになっていると思います。今の時代、少なくとも日本は飢餓の時代ではないので、飽食という言葉はあつていいのかなと思います。決して「やせ」は脂肪が少ないことを意味しているのではなく、それがまた問題であったりするので。体重で分かるのは人の体の総重量で、たまたまそれは脂肪の増減が多いということで、結局 BMI で肥満が防げるかどうかではないと思います。

○事務局

ここは内部でも話をしたのですが、飽食以外にも偏食なども不規則な食生活ということに含まれていると考えて整理させていただいております。

○会長

事務局は今の見解ということで、よろしいですかね。

○E 委員

民生委員ですが、先日民生委員の集まりで、健康くるめ 21 というのを知っているかという話をしましたが、誰も知りませんでした。今後市民に対しての周知をどのようにしていくのか教えてもらいたいです。

○事務局

前回から健康くるめ 21 の認知度が低いということでご指摘をいただいております。今回の説明会をご案内する際に、校区社協の会長さんの集まりや民生委員さんのところに保健師等、私も参りましたがご説明させていただいたところがございます。その中でも健康くるめ 21 の認知度は高くないと感じたところで、10 年ぶりに作られる計画ということで 10 年前はある程度あったのかもしれませんが、だんだんと落ちてきている現状もあるのかと思います。今回、第 2 期がこのように策定されますので、市として通常ある媒体、広報紙、ホームページ等は活用していきたいと考えています。時期は未定ですが、特集を組んで広報くるめで内容をご説明したいと考えています。全般的な広報は必要でございますが、やはり地道な地域に根差した啓発、ご説明が必要だろうということで考えております。また、市ではこの 4 月 1 日の組織改正で、すでに広報でご存知かもしれませんが、健康推進課から地区担当保健師がいる部隊が独立するような形で、地域保健課ができます。より地域に入っていっ

て地域の皆様の健康づくりを支援していく体制が強化される場所もございませう。そういったなかで今回の健康くるめの本冊を 1,000 部、概要版を 10,000 部作る予定にしております。そういったツールを使って、地域の様々なお手伝いをさせていただいてより地域に根差した形で PR していきたいと考えております。民生委員の会議や、社協の会議などにもお邪魔して PR させていただきたいと考えております。ぜひその際には、よろしくご協力いただきたいと考えております。

○会長

若い人は広報紙は見ないでしょうし、媒体の検討をして、定期的に何かしないとすぐ忘れられますから。どのような媒体を使うか、タイミング等は検討しないといけないでしょうね。

○事務局

追加ですが、久留米市で出前講座というものをやっております、健康推進課の中では健康くるめ 21 で 5 名以上の団体であればお話をさせていただいておりますので、ここにおられる皆様の PR 等でご利用していただけたらありがたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○会長

委員の皆様は重要な役割を果たすことになりますね。パブリックコメントは 144 人ということであまり集まらないかと思っておりましたが、健康意識の高まりはあるのでしょうか。何か特別な事をされましたか。

○事務局

これまでの説明会がなかなか集まっておいただきにくいということもございましたので、曜日の設定も日曜日とさせていただいたのもございませうし、いろいろな団体様の集まりに可能な限り出向きましてご説明をさせていただき、お 1 人がお 1 人を誘ってきていただくようなお願ひをさせていただきました。その効果かどうかは分かりませんが、予想以上に多くの方に集まっておいただき、大変ありがたかったと思っております。

○会長

他にはございませうか。

○A 委員

広報は他のところではしないのですか。私でしたら、体育スポーツ課のスポーツクラブは人が多く集まりますが、そういったところで広報するということはないのですか。課を超えてということですか。

○事務局

おっしゃる通り全庁的に取り組む計画になりますので、そういった意味で庁内会議も全部局集まっております。体育スポーツ課を含め、これから連携を深めていかないといけないと考えておりますので、今後は一緒にやっていくことになろうかと思ひます。

○A 委員

体教が実際にやっていることですが、体育の日に体力測定をやっているのですね。ただ、データベースを作っていないんです。もったいないのですが、体力測定の結果は皆さんの健康度ですから、これはアンケートの結果であって、首から上の問題なので、これを実態のあるものにするには測定する機会をこちらから捉えていき、市

として共有しておこうと考えた方がいいと思います。体育スポーツ課の方もそれを持て余していると思うので、市民の方の体力測定の結果が健康度なので、市としても使えるように健康推進課としてもこれと合わせて話ができるんじゃないかと思います。

○事務局

先立って、スポーツ振興計画の後期計画が体育スポーツ課の中で策定され、今回の健康くるめ 21 策定の過程のなかで、お互いの中身を披露しあう場面もございました。その結果、この数カ月距離も縮まっておりまして、先日スポーツ推進委員の総会があったところに地区担当保健師が参加させていただいて、26 日研修会が体育スポーツ課でございまして、その場に保健師が参加させていただくことになっております。まだまだ取りかかったばかりできっかけでございますが、そういったことを積み上げていくと、少しずつお互いのことを知りながら可能な限り事業なり、取り組みをからめ合っていくことで一致はみておりますので、私共としてもそのあたりは楽しみにしているところでございます。

○会長

課を越えてということ、実際できるところということ、先生のご提案だったかと思えます。

○C 委員

関連して課をこえてという話ですが、今、生涯学習推進課がやられている委嘱学級、ほとんどの校区でやられていると思います。私のところは3つ学習があるが、こういうものを持っていくと、生涯学習はお年寄りが多いですが、健康に興味を持たれている方ばかりで効果的だと思います。若い人の健康も大事ですが、先生がおられている大学病院でもお年寄りの方が多いですね。お年寄りの方の意識づけには生涯学習を通じて講座をもっていくとより一層効果があるのではないかと思います。

○事務局

ここ数年、高齢者学級、女性学級の一部に読んでいただいている校区もございまして。まだお呼びのかからないところもございまして、地区を担当している保健師が時期をとらえて活動したいと思えます。意外と行ったらもう決まっているといったこともございましたので。

○D 委員

人権は必ずプログラムのなかに持つようになっているかと思えますが、そのような位置付けにはできないのですか。1年に1回その講座ができるようになれば。

○事務局

組み込んでいただけるように、またきちんと皆様に知っていただけるように地区担当保健師等の活動をしていくと考えております。

○D 委員

市民から言った方がいいのですか。

○事務局

行政同士ですと、枠の取りあいみたいのところもございまして、市民の方からいただくことは大きな

力になります。

○事務局

地域の中で、健康づくりの講座ではなくても一項目といったところを委員の皆様からあげていただくと、私共もやりやすくなります。

○D 委員

コミセンでそういう話をしてもらいたいということを各校区で言えばいいということですね。

○F 委員

小学校の養護教諭をしています。前回の養護教諭会で健康くるめ 21 の話題でこのような会議があっっていて進んでいるということで簡単に説明させていただきました。今までつつじマーチに参加するということが健康くるめ 21 の参加ということでやっていたと思うので、第 2 期では生活習慣病の予防ということで、連携しながら学校や保護者の役割も明確になってきたと思います。学校も、それこそお年寄りの方々が健康にと考えてあるなかで子ども達がそれを知らないというわけにはいかないと思いますし、同じ気持ちでやっていけたらと思いますので、養護教諭会や学校でも広めていけたらと考えております。

○会長

生活習慣病は生まれた時からと言いますし、未熟児等そうですね。学校での取り組みもしていただくといいですね。市役所からもぜひ出かけていただきたいですね。

○C 委員

直接関係する質問ではないですが、禁煙の取り組みのところで、コミセンは全館禁煙で、吸っている人には少し減らしたらというが、吸っている人は減らせない。受動喫煙の防止で禁煙としていますが。違う話ですが、久留米のたばこ税収入はどのくらいでしょうか。

○事務局

年間 20 億くらいです。

○C 委員

市に税金払っているという人もいるので、そういった見方をする人もいるということですね。24 億円と聞いていた時もあるので、少し減っているのですよね。

○事務局

おっしゃる通り、20～24 億円を上下しているところです。

別の計算によりますと、国全体でたばこ税での収入が 2 兆円くらいだそうです。その損失、医療費やそういったものを含めるとその倍くらいのお金がかかるといった計算があるようです。がんで死亡されるとその後の社会的要因、働き手がいらないなどそういったところを考えるとその損失が大きいようです。一概に税金を納めているからということではないのかなと思います。

○E 委員



PM2.5 も出るのですか。

○事務局

はい、物を燃焼したときに出てくる小さな灰みたいなものですので、たばこを吸われている場合は肺の中は外気よりすごい状態だと思います。

○会長

他にございませんか。

1年後、2年後には効果判定が必要になりますね。

○事務局

特に5年後は見直して、評価は必要になりますので、それも含めてやっていくことになると思います。

○B委員

印刷物はいつできあがりますか。

○事務局

3月末まで庁内の会議があります関係で、4月に入ってなるべく早い段階で皆様のお手元に届くようにして、ホームページ等にも掲載したいと考えております。

○会長

お忙しいかと思いますが、今日のご意見はまとめていただいて反映したものをまとめたようなものを出していただければと思います。

○OG委員

先ほどの標準体重のところですが、22年度に健康づくり推進の研修会を受けました。そのときにいただいたカレンダーで毎日同じ状態で体重をつけて3年目に入りました。それで、自分にとって一番いい体重を維持しておりますので、こういったものもあるといいのではと思います。非常に役に立っています。

○会長

その他何かありますでしょうか。内容でしたら、議題は終了となりますので、事務局連絡事項があれば、お願いいたします。

○事務局

今後のスケジュールを少し説明させていただきます。本日のご意見も含めまして、来週25日に庁内次長級の会議をいたします。その後27日に部長級の計画推進委員会を開き、市としての計画案を最終的に策定することになります。それを踏まえ、4月から第2期の計画がスタートすることになります。4月以降、啓発等、皆様のご協力を宜しく願いたいと思います。

○会長

それでは、これで閉会となります。事務局お願いします。

○事務局

健康推進課課長井上でございます。昨年の8月より非常に短い期間でご協議いただき、誠にありがとうございました。皆様より貴重なご指摘、ご意見いただきまして、ここに第2次健康くるめ21計画案という形でまとめさせていただいております。これもひとえに委員の皆様方のご協力の賜物だと感じております。この計画をもって先ほどのスケジュール通り進めていくようになりますが、先ほど委員の皆様からのご意見も出たところなのですが、計画を推進していくことが重要で、会議は策定と言うことでは一旦終了となりますが、推進に当たっての助言等お願いすることになるかと思っております。その際、来年度末くらいになるかと思っておりますが、その際は、ご協力よろしくお願ひしたいと思っております。結びになります。本日までのご協力に関して心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。